

7/12

生態系と生息環境の 保全活動を実施



多里はんざけを守る会（面田洋一会長）、株式会社エスジーズ（米子市）、鳥取県、日南町の4者の「生物多様性保全協定」に基づき、日野川源流保護エリアで「オオサンショウウオ応援団」を実施しました。当日は、河川や人工巣穴の清掃、幼生の観察などに取り組みました。大人も子どもも活動を通して、豊かな自然環境の大切さや自然との共存、次世代へつないでいくことの意義を改めて実感する機会となりました。

7/10

園児と児童が協力！ 鮎のつかみ取り



にちなん十色で鮎のつかみ取りが行われ、にちなん十色の年長児13人と、今年初めて参加する日南小学校5年生17人が参加しました。園児たちの「エイエイオー！」の掛け声で始めると、子どもたちはいけすに入り、元気に泳ぐ鮎を夢中になって追いかけてました。園児と児童が協力しながら鮎をつかみ、「大物がとれた！」と嬉しそうに話す姿も見られました。つかみ取った鮎は、最後に焼いておいしくいただきました。

7/16

「にちなん地域社会 共創プロジェクト」始動



日南町と、にちなんミライ実験コンソーシアム（代表企業：株式会社テクノプロジェクト、松江市）は、山陰地域と台湾の企業・テクノロジーの連携による「にちなん地域社会共創プロジェクト」を共同で推進するため、連携協定を締結しました。住民のウェルビーイング向上につながるデジタル技術の有効性などを検証するもので、日南病院にスマートバス停を設置し、実証を開始しました。

7/16

「日南トマト®」 初出荷をお祝い



JA鳥取西部日南支所トマト選果場（生山）で、「日南トマト®」の出発式が行われました。生産部においては、3年連続となる販売額2億円を達成しました。出発式には、町長や生産者、JAなどの関係者に加え、日南小学校3年生の児童と、にちなん十色の年長児が参加し、初出荷をお祝いしました。生産者からトマトが振る舞われると、子どもたちは笑顔で頬張り、旬の味を楽しんでいました。

